

学力向上に向けた取組

函館市立戸倉中学校

1 課題

- ・校内研修の充実と授業改善
- ・補習指導体制の工夫・改善

2 課題解決の具体策

- ① 地域公開研究会の実施
- ② ワークショップ型校内研修会の開催
- ③ 全員が2回行う授業公開
- ④ 放課後や長期休業中における補充的な学習の指導体制の確立

3 取組の概要

- ① 11月2日（火）に地域公開研究会を実施。1年生数学、2年生社会、3年生特別活動の授業を公開。教職員、保護者の他、町内会長等の参観をいただく。また、校内研究を兼ねており、指導主事、教科指導員の先生にも参観、助言をいただいた。
- ② 教師全員が参加し、授業改善につなげるためにワークショップ型の研究会を企画した。公開した授業を参観した直後に、拡大した指導案に付箋を貼っていき、研修会に活かすこととした。各授業に対し、グループで検討を加え、成果と課題を明確にする今回の取組は、参加型研修会として非常に有効であった。
- ③ 1学期に全員が授業を公開。その後、校内研修会を経て、2学期には全員が指導案を作成し、授業を公開する。授業参観後は、参観メモを記述して渡すなど、全校をあげて授業改善に取り組んでいる。
- ④ 授業、放課後や長期休業中に、「学習の自律」を促しながら補充的な学習が展開できるよう、国語、数学、英語のコンピュータによる個別学習プログラムを購入し、活用している。今年度は、教科担任以外の教師も指導ができるようにするために研修会を実施し、PCルームを活用した指導の改善に努めている。



4 成果と課題

- ワークショップ型の校内研修会に切り替えたことで、授業を参観する教師の姿勢や視線が前向きに改善され、その後の授業検討でもたいへん活発な討議が展開された。
- 教師全員が年に2回授業を公開することで、授業改善につながっている。また、地域公開研究の授業への批判検討を経て、各教科が指導案を作成するという流れが、校内研修に推進力を与えている。
- 地域公開研を要に、より地域の多くの方に学校を拓く方策を模索していきたい。公開と研究の日程を分けることも考えてみたい。
- 補充的な学習にかかわって、生徒のニーズにいかに関心教師側が組織として応えていくかが課題である。